

カード名	さかえまち ころだいず 栄町のどらまめ (黒大豆)
都道府県	千葉県
市町村	千葉県印旛郡栄町
水の恵み施設	さかなおすいもん いんばきじょう 酒直水門・印旛機場
所在地	千葉県印旛郡栄町大字酒直字落合埜1737番地先 千葉県印旛郡栄町大字和田字外下耕地179番地先

**千葉 黒大豆 マメ科 ダイズ属**  
**栄町のどらまめ(黒大豆)**  
 千葉県印旛郡栄町

**ポイント解説**  
 千葉県栄町では、酒直水門や印旛機場等により排水性が改善されたほ場で「丹波黒」と呼ばれる黒大豆の高級品種の栽培を平成10年から始め、印旛沼周辺地域に伝わる龍(ドラゴン)伝説にちなんで「どらまめ」と名付けて栄町の特産品として振付がせました。また、オーナー制度の展開により消費者自ら収穫を体験することができ、収穫時期を選択することで10月に収穫すればおいしい枝豆として、12月に収穫すれば正月の煮豆用として楽しめます。

詳しい情報は「水産資源水の恵み」検索  
 ●米町どら黒豆生産販売地産協会のHP <https://dorame.com>  
 ●栄町黒大豆研究会HP <https://www.sakae-doramame.com>  
 Ver.1.0(2020.10)

**水の恵み** DP DG

酒直水門・印旛機場 北印旛沼 西印旛沼

**酒直水門基本データ DG**  
 ○形式・規模：鉄筋コンクリート造・延長120m

**印旛機場基本データ DP**  
 ○形式・排水機：立軸軸流ポンプ・最大92m/s

**きっかけ**  
 本地域は、印旛沼に隣接する低平地であり、しばしば洪水被害が発生していたため、水資源開発公団(現水資源機構)の印旛沼開発事業(昭和38～43年度)により印旛沼周辺の洪水被害を除去するとともに農業用水及び工業用水等の確保、さらに周辺既耕地の用排水施設を新設・統廃合するかんがい排水事業が行われました。

**ローメモ**  
 遠く昔「縄文時代」の印旛沼は、霞ヶ浦、手賀沼と一体となった大きな水域の一部で、万葉集では「香取の海」と詠まれていました。その後上流から土砂が流れ込み各所に砂州が作られ、さらに幾度かの隆起を繰り返しながら渚が次第に遠のき、霞ヶ浦、手賀沼、印旛沼は独立していきました。

カード配布場所	配布場所の住所	配布日時	ホームページURL
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所	千葉県八千代市村上3139	9:00～17:00 (土日祝祭日、5/1、12/29～1/3、5/1は除く)	<a href="https://www.water.go.jp/kanto/chiba/">https://www.water.go.jp/kanto/chiba/</a>
栄町役場	千葉県印旛郡栄町安食台1丁目2番	9:00～17:00 (土日祝祭日、12/29～1/3は除く)	<a href="http://www.town.sakae.chiba.jp/">http://www.town.sakae.chiba.jp/</a>